



食物栄養科 特任教授

保坂 智子 (ほさか ともこ)

Hosaka Tomoko

自己紹介 (プロフィール)	<p>物心ついてから憧れ続け、一貫してその気持ちが変わることのなかった教員生活。大変充実した有意義な日々を送らせていただいたことに感謝しています。今日まで教育は「愛」をモットーに歩んで来ました。関わった人々にそれが通じたかどうかはわかりませんが、人間の心の原点を「愛」であると捉え、いろいろな機会の中で極力その実践を試みたつもりでおります。今後も益々「愛」をもって、教育に携わりたいと思っています。</p>
学生へのメッセージ	<p>混沌とした世の中、あまり希望が持てないこの頃だと感じている人も多いと思いますが、自分自身の心の持ち方で生き方は変えられると信じています。希望をもって夢を描き、想像力を駆使し、若さをエネルギーに代え、がんばって欲しいと思います。</p>
保有資格・免許	<p>中学校教諭二種免許状 (保健体育) 中学校教諭一種免許状 (保健体育)</p>
研究分野	<p>教育学 教育心理学</p>
主な担当科目	<p>教育職の研究 教育課程論 教職実践演習(中学校)</p>
学外での活動	<p>山梨県スポーツ振興審議会副会長 (H19~H22) 山梨県教育振興計画基本計画策定委員会 委員 (H19~H20) 山梨県総合計画審議会 委員 (H20~H22) 山梨県武道・ダンス必修化に向けた地域連携実践事業協力者会 委員 (H22~H24) 山梨県女子体育連盟 顧問 (H21~) 第47回全国女子体育研究大会山梨大会運営委員(H24~H25)</p>
所属学会	<p>日本女子体育連盟</p> <p><受賞・表彰歴></p> <p>H19.10 山梨県体育功労者表彰 (山梨県体育協会会長) H20.10 生涯スポーツ功労者表彰 (文部科学大臣) H22.11 山梨県政功績者表彰 (山梨県知事) H22.12 山梨県体育協会功労者表彰 (山梨県体育協会会長)</p>

主な職務実績（抜粋）

事項 (単独・共同)	年月日	概要
(研修会講演) 武士道と警察官のあり方	H20.11	平成5年警察官採用者の15年研修において、武士道について考え、警察官として、人間として、成長しつつ、国民の期待に応えるあり方について講演した。(山梨県警察主催、於：警察学校)
(研修会講演) 国民の要請	H22.1	警察官15年研の教育研修の中で、警察の中の殻から脱し、常に社会の動き、国民の要望していくものに耳を傾け、国民のための警察官であってほしいと「七施」の教えから講演を行った。(山梨県警察主催、於：警察学校)
(研修会講演) 地域社会への貢献（豊かな人生を）	H22.2	甲府市女性リーダー合同研修会において、地域の女性リーダーの活躍の現実と、今後生きる活動のあり方を各地域各領域において提言した。(甲府市女性学級連絡協議会主催、於：甲府市立北東公民館)
(研修会講演) 女性リーダーとしてのあり方	H21.11 ~H25.11 計5回	県教育委員会主催「あすをひらく女性指導者研修会終了者の会」「ねむの木会」の定例会において地域での女性リーダーの在り方について講演した
(研修会講演) 自分らしく生きる	H24.11	千塚老人大学において、年を重ねることの意味、自分の人生を自分で作ることのおもしろさ、意欲の持ち方等講演した。

主な教育研究業績（抜粋）

著書、学術論文等 (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等	概要
「心と身体の開放」	H18	山梨県女子体育研究集録第36号	いかにして子どもたちを解放させることができるか。教材への関心を持たせ、興味を高め、思考を深め、仲間との協同等、切磋琢磨しながら表現の喜びを体験させ開放させたい。見通しをもって授業を進めることの意義を提言した。
「現代的課題に迫る」	H19	山梨県女子体育研究集録第37号	子どもの運動能力の低下、体力の低下等々、現代の課題とされている。この子どもたちをとりまく社会環境を考え、教師の対応が問題となる。新指導要領(案)から考えると運動量の増加、表現力、コミュニケーション能力を育成すること等、研究をかさね、教師の実践力、指導力を高めることが必要であることを強調した。
「変化の時に思う」	H20	山梨県女子体育研究集録第38号	教育三法が改正され、新しい指導要領改定は大きな変化である。教師はますます子どもたちの力となるような、学習ステップを工夫し、用意しなければならない。教師の指導力に関わる問題も多い。教師は絶えず研修し未来を担う子どもたちを育てることを自覚し、この変化の時にあたり考えをさらに新たにしなければならないと提言した。
山梨県体育史第3巻(共著)	H20.10	山梨県体育協会	山梨県体育協会創立80周年記念事業の一環として山梨県体育史第3巻を発刊し第2巻(昭和64年発刊)以降の20年間の山梨県の体育・スポーツの歴史を綴った。本書において、山梨県体育連盟50年の研究の歩をまとめ、体育史への原稿を執筆した。(p515~519)
「学習指導要領改訂と教員の質の向上」	H21	山梨県女子体育研究集録第39号	基礎学力向上に重点がおかれた今回の学習指導要領改訂をふまえ、授業内容の増加、授業時数の増加、その他小学校への英語導入等、従来の授業方法や経験だけを踏襲しては行かない。このことを教師は十分に自覚し自らの教員としての質の向上を図る努力をしなければならない。教師の指導技術の向上がやがて一人一人の子どもたちの幸せにつながることを念頭におくべきであると提言した。